



2025 年 7 月 30 日

各 位

上場会社名	フジテック株式会社
代表者	代表取締役社長 原田 政佳
(コード番号	6406)
問合せ先責任者	執行役員財務本部長 山元 博之
(TEL	072-622-8151)

中期経営計画の修正に関するお知らせ

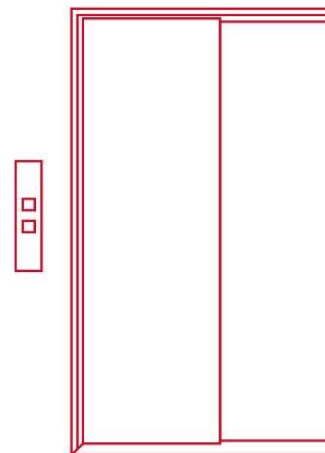
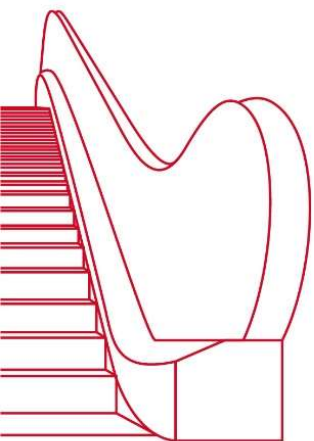
当社は、2024 年 5 月 14 日に公表した「中期経営計画に関するお知らせ」において公表した 2024 年度を初年度する 5 カ年の中期経営計画”Move On 5”の最終年度である 2028 年度 (2029 年 3 月期) の連結数値目標を修正することいたしましたので、お知らせいたします。

詳細につきましては、添付資料をご参照ください。

以 上



中期経営計画2024-2028“Move On 5” 計画修正について



2025年7月30日

フジテック株式会社

(東京証券取引所プライム市場: 6406)

計画修正後 MO5 最終年度（2028年度）数値目標サマリー

売上高は中国事業の落ち込みにより▲13%の下方修正となりますが、北米、香港およびシンガポールなどでメンテナンス事業におけるプライシング強化策を講じ、営業利益は増減なしとしました。

(億円)	従来 MO5 FY2028計画	修正版 MO5 FY2028計画	変化率
売上高	3,250	2,830	▲12.9%
営業利益(利益率)	440 (13.5%)	440 (15.5%)	- (+2.0%)
ROE (自己資本利益率)	18%	18%	-
為替	135.00円	135.00円	-

（留意点） 配当性向やEPSなどの数値目標については、本日別途公表した当社に対するTOBによる将来影響を鑑み非開示としています。

修正後セグメント別連結業績計画

中期経営計画最終年度である2028年度の当初および修正後のセグメント別連結業績計画は以下の通りです。

2028年度（2028年4月1日～2029年3月31日）連結数値目標

(単位：百万円)

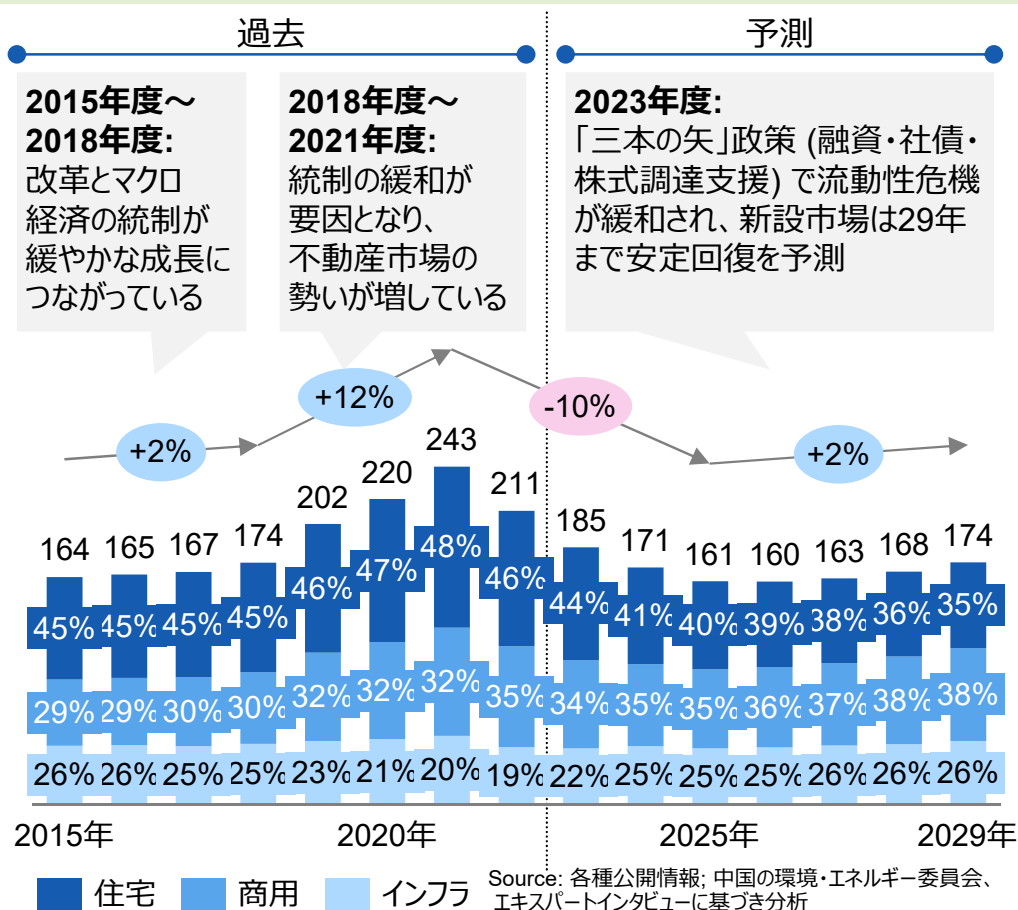
	売上高			営業利益		
	当初計画	修正計画	増減率(%)	当初計画(A)	修正計画(B)	増減額(B-A)
日 本	114,000	114,000	—	17,400	17,400	—
東 ア ジ ア	116,000	73,700	▲36.5	11,300	10,400	▲900
南 ア ジ ア	54,000	54,300	0.6	8,600	8,900	300
米 州・欧 州	56,000	56,000	—	6,700	7,300	600
小 計	340,000	298,000	▲12.4	44,000	44,000	—
調 整 額	▲15,000	▲15,000	—	—	—	—
合 計	325,000	283,000	▲12.9	44,000	44,000	—

計画修正の背景 – 中国不動産市況の悪化

今回の修正の背景となった中国新設市場の予測は以下の通りです。

24年以降、不動産企業の債務危機、政策効果の限界、住宅需給の悪化が重なり、新設市場の回復は予測以上に遅れる見込み

中国新設（一般エレベーター）市場予測【MO5策定時想定】



【見直し後の想定】 当社の中国事業が比較的シェアを獲得している「中所得者向け住宅」は、価格感応度が最も高く、不況による価格下落の影響を最も受けやすい見通し



不動産企業の債務危機が顕在化

- “ 24年、碧桂園を筆頭とする大手デベロッパーのデフォルトがサプライチェーンに波及、200以上のプロジェクトが停止
- “ 2024年上半期、中小デベロッパーの国内債務不履行額が2,000億元を突破（前年比2倍）
- “ その結果、新設発注量が24年半年間で▲18%



不動産振興政策の限界

- “ 地方政府の土地売却収入が前年比▲40%（2024年5月）、「未完成住宅保証基金」の規模が300億元に縮小
- “ 旧住宅改修補助の実施率35%、住宅購入補助による不動産振興の効果も限定的



経済不況による住宅需給悪化

- “ 2024年1-5月の住宅販売面積が前年比-23.8%、住宅価格は12ヶ月連続で下落
- “ 中小デベロッパーが平均の25%値下げ影響を受け、エレベーター新設の販売価格▲12%急減

中国不動産市況悪化に対する主要施策

	業績回復に向けた 主な取り組み施策	具体的な取り組み内容と 進捗状況および今後の予定
売上高	① 高ポテンシャル&当社の強みが生かせる市場を特定、戦略を調整	> 政府の補助金により需要が旺盛な撤去新設市場にフォーカスした販売活動を推進中
	② 既存代理店の業績向上、及び強力な代理店との連携	> 既存代理店に対する考課厳格化と、新規代理店への入れ替えによる活性化を推進中
	③ コンバージョン率の向上、地場保守会社の買収を通じたサービスポートフォリオの改善	> 地場保守会社との競争激化で保守ポートフォリオの成長が鈍化するも、買収案件を探索中
コスト	④ コストを削減し、Tier1&2競合他社より10~15%低い価格優位性を実現	> 材料費・製造間接費を対象にコスト削減を実行中で、対年度計画比ではオントラックで推移
	⑤ 支店ネットワークの最適化、および全体組織の合理化	> 現地幹部を登用して支店改革に既に着手済み、さらなる合理化含めた組織最適化を目指している
運営 基盤	⑥ 業績管理オペレーションの再設計、ガバナンス強化	> 与信管理強化および債権回収リスク対応を中心に本社の関与を深め、経営管理能力の底上げを推進中

MO5策定時に想定していなかった以下の改善余地があることが判明し、各々について強化策を講じます。
これらの効果により、中国事業の減益を穴埋めし、営業利益は当初計画のままとします。

米州・欧州

- 主に米国において過去、メンテナンス事業において一部顧客との赤字契約が継続
 - 契約毎に赤字発生の背景・原因を精査した上で、価格改定を検討
- 赤字契約の是正により+約6億円の増益効果を見込む

東アジア

- 香港を中心に競合他社並みの価格引き上げを目指し、価格改定を検討
- プライシング強化で+約24億円の増益効果を見込む

南アジア

- 主にシンガポールでは新設価格が他社より比較的高く、メンテナンス事業の値引きで補填している状況
- メンテナンス事業における価格引き上げ実施により+約3億円の増益効果を見込む

FUJITEC